

絵入源氏物語

卷五十三 てならひ

梶山女学園大学デジタルライブラリー

梶山女学園大学図書館

しつこくよとひひりーあざりよぶちどやうなる
 の極ひさりちよはものあつよづつとくぐーくろ箱の
 下^下らう法^法解^解よ火ともしもて人まふあふまうろの
 きんこ^{きんこ}りりもりもりもりのーとちやうと
 うけのつりやとこ入^入らうまじりいんあひり
 ぐりこらぞとゆえれいりぞとまじりて火とら
 くちりてこれ^{これ}もの^{もの}わらうまじりてあつこの
 変化^{変化}ーらうよくーあ^あく^くいんとてひりは
 いますーあゆこ^{あゆこ}よりづまひりいあか^{あか}らうかよ
 くぬれ^{ぬれ}ちん^{ちん}と^とひりて^てあ^あう^うの^のれ^れーぞく
 ぶ^ぶおん^{おん}つ^つら^らつ^つま^まが^がよ^よち^ちは^はま^まも^もり^りい^いら^らう^う
 う^うあ^あぶ^ぶあ^あざ^ざり^りぬ^ぬぶ^ぶい^いち^ちり^りす^すら^らう^うま^まれ^れ火^火と^ともー
 ぶ^ぶち^ちと^とい^いら^らり^りも^もち^ちく^くあ^あち^ちも^もこ^こゆ^ゆよ^よて^てち^ち
 く^くより^りて^てぞ^のの^のゆ^ゆを^をい^いれ^れが^がは^はち^ちぐ^ぐの^のやく
 ち^ちて^てち^ちち^ちの^の根^根の^のい^いと^とあ^あり^りー^ーま^まよ^よら^ら
 ち^ちて^てい^いら^らう^うく^くづ^づー^ーま^まよ^よら^らく^くり^り
 傍^傍の^のれ^れ坊^坊は^はい^いん^んを^をさ^させ^せま^まら^らや^やと^とい^いひ^ひけ^けは
 あ^あや^やま^まこ^こと^とち^ちり^りと^とて^てひ^ひり^りい^いま^まう^うで^でく^くら^らな
 こ^こち^ちぐ^ぐや^やと^とい^いら^らう^うの^の人^人は^は変^変化^化と^とい^い考^考ら^らり
 ち^ちげ^げと^とま^まじ^じい^い地^地ち^ちり^りと^とて^てい^いら^らう^うて^てい^いら^らす^す接^接
 け^けり^り弦^弦と^とす^すら^らう^うよ^よら^らう^うて^てい^いら^らす^すも^もれ
 ち^ちち^ちぐ^ぐー^ーま^まじ^じい^いら^らう^うて^てい^いら^らす^すべ^べー^ーと^とい^いと

五三

あつらう

う^うあ^あぶ^ぶあ^あざ^ざり^りぬ^ぬぶ^ぶい^いち^ちり^りす^すら^らう^うま^まれ^れ火^火と^ともー
 ぶ^ぶち^ちと^とい^いら^らり^りも^もち^ちく^くあ^あち^ちも^もこ^こゆ^ゆよ^よて^てち^ち
 く^くより^りて^てぞ^のの^のゆ^ゆを^をい^いれ^れが^がは^はち^ちぐ^ぐの^のやく
 ち^ちて^てち^ちち^ちの^の根^根の^のい^いと^とあ^あり^りー^ーま^まよ^よら^ら
 ち^ちて^てい^いら^らう^うく^くづ^づー^ーま^まよ^よら^らく^くり^り
 傍^傍の^のれ^れ坊^坊は^はい^いん^んを^をさ^させ^せま^まら^らや^やと^とい^いひ^ひけ^けは
 あ^あや^やま^まこ^こと^とち^ちり^りと^とて^てひ^ひり^りい^いま^まう^うで^でく^くら^らな
 こ^こち^ちぐ^ぐや^やと^とい^いら^らう^うの^の人^人は^は変^変化^化と^とい^い考^考ら^らり
 ち^ちげ^げと^とま^まじ^じい^い地^地ち^ちり^りと^とて^てい^いら^らう^うて^てい^いら^らす^す接^接
 け^けり^り弦^弦と^とす^すら^らう^うよ^よら^らう^うて^てい^いら^らす^すも^もれ
 ち^ちち^ちぐ^ぐー^ーま^まじ^じい^いら^らう^うて^てい^いら^らす^すべ^べー^ーと^とい^いと

傍敷詞

変換

あつらう

凡そ

どもとくろくはつりよはひそぐまれありたれむお
 ちげまりちむごーつろよはひそぐまれありたれむお
 物をうろよくうろくくもるーあやーうて時を
 うつらまてうろくくもあけまてあんなくちよ
 ぞとこわくはんよとこまはるべふ言ふよと
 ひらりて心うろよまろくわあゆんうれし人
 あり傍教ひらりてのうろくあまれまあけまて
 えんちありし人よはあまれまあめれま
 ちよさりける人をすてさりけるがよこぐりり
 ちよさりける人のさる人をうれ院のうちよまて
 ゆんちまひまてよ人ありとまてつひこむやうの

丑四

ちよさりける人をすてさりけるがよこぐりり
 ちよさりける人のさる人をうれ院のうちよまて
 ゆんちまひまてよ人ありとまてつひこむやうの
 ちよさりける人をすてさりけるがよこぐりり
 ちよさりける人のさる人をうれ院のうちよまて
 ゆんちまひまてよ人ありとまてつひこむやうの
 ちよさりける人をすてさりけるがよこぐりり
 ちよさりける人のさる人をうれ院のうちよまて
 ゆんちまひまてよ人ありとまてつひこむやうの

人をぎびやくまぐしよはあやめあやめはうらみ
 うとあれしう。れれあうらありあれしあう。心を
 うらとらあうべし。傍れうらあやうののうら
 けさう。れうく。こらうらあれれをらめ法印を
 うまう。れが鬼法竹詞う神うらうのうこむうがうりの天あちの
 下のけんがれかりしあう。あまうはえう。れあう。
 ちれりめうく。こらあうらうてひけが。あうら
 うらてうらく。あう。だあさ。れのまのうら
 やまう。うられちんやう。ひひ。うらをうらんと
 すう。あう。けん。あれあう。け。あう。あう。や
 あんと。ひく。け。あ。れ。あう。うら。あう。あ。

人よ。あう。あう。あう。あう。あう。あう。あう。
 うら。うら。うら。うら。うら。うら。うら。あう。
 あう。あう。あう。あう。あう。あう。あう。あう。
 うら。うら。うら。うら。うら。うら。うら。うら。



法行
 かくては... 悟教つの人の
 ... 池は... 人を...
 ... 人の命... 鬼おにも神かみも
 ... 佛ぶつの... 佛ぶつの...

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. There are several small annotations or corrections written above the main lines of text, including characters like '尾' and '訂'.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. There are several small annotations or corrections written above the main lines of text, including characters like '尾', '訂', and '故'.

あはれなる心にて世をなすべし
行ふもくちりて世のまじり
人の心をつらかりて世の
もつれちがひ誰とせむ
らうにせむひちりて世
とつて人はあはれなる人
あはれなる心にて世を
なすべしとてあはれなる
心にて世をなすべし
あはれなる心にて世を
なすべしとてあはれなる
心にて世をなすべし

あはれなる心にて世をなすべし
行ふもくちりて世のまじり
人の心をつらかりて世の
もつれちがひ誰とせむ
らうにせむひちりて世
とつて人はあはれなる人
あはれなる心にて世を
なすべしとてあはれなる
心にて世をなすべし
あはれなる心にて世を
なすべしとてあはれなる
心にて世をなすべし

思ほんのほろろろろろれづいせあまゝらあ
 ころもあく尾をいんごせいせんりうあまよ
 りろいんちせいせあまの物さうりなまをすうよ
 りろいんちせいせあまの物さうりなまをすうよ
 ぼれこてうせの申よめぐうちを誰かの
 あん月のやうな今の恨うらみとあひし程もい
 へん人あまろろろろろろろろろろろろろろろ
 られん人あまろろろろろろろろろろろろろろろ
 りろいんちせいせあまの物さうりなまをすうよ
 あんちろろろろろろろろろろろろろろろろろろ



孫びいふまゝしうつ終りんよしもなまなまぬ
 よもんしゆれど例の人まにあいぬ
 いちあつまぢや根に終りぬはしめ
 うしろの人まな今いふと終りぬはしめ
 けしめゆいゆ一物根に終りぬはしめ
 つあよしゆもあまこも入ゆらぬあわたりて
尾玄彦ノ方ノいりてまぢやいりてあぢやいりてあぢやいりてあぢや
田りりしゆもあまこも入ゆらぬあわたりて
 よれこのもあぢやいりてあぢやいりてあぢや
 まれまぢやいりてあぢやいりてあぢや
中あぢやいりてあぢやいりてあぢや
内あぢやいりてあぢやいりてあぢや
中あぢやいりてあぢやいりてあぢや
内あぢやいりてあぢやいりてあぢや
 くのまぢやいりてあぢやいりてあぢや
中あぢやいりてあぢやいりてあぢや
内あぢやいりてあぢやいりてあぢや
中あぢやいりてあぢやいりてあぢや
内あぢやいりてあぢやいりてあぢや
中あぢやいりてあぢやいりてあぢや
内あぢやいりてあぢやいりてあぢや
中あぢやいりてあぢやいりてあぢや
内あぢやいりてあぢやいりてあぢや
中あぢやいりてあぢやいりてあぢや
内あぢやいりてあぢやいりてあぢや
中あぢやいりてあぢやいりてあぢや
内あぢやいりてあぢやいりてあぢや

尾玄 秋の空くしめりしゆもあまこも入ゆらぬあわたりて

しんまもよきそめてびらつれとぞくらちあ
 とくあぬぬあねのむらぐらくしうまてあてあり
 まもあくるぬむなひらうちづらもてあむせら
 とくらちあくむよふはあへんちりしゆれと
 りうまぐれの母のよもあわれうらよほふいびり
 とあゆくそ

ほふは秋のウラとららのむとちのあつら袖は
 霧ぞとらうし月さうそくあうしう福よひの
 文ありつら申おありしうあれほくそこの何ぞと
 思ひぬ人びおくうつら結あねのとあまうりよよ
 ありしうおくれれうらうらほいしんまもあつら

五十一

ありしうそゆめれはのまもあつらうらりしんま
 まあつらぬ人あつらうらんのあつらうらりしんま
 とそあつらうらぬむらうらむらああねのゆあねのはく
 まあつらぬむらうらぬのあつらあほいしんまあつら
 うらりしんまあつらうらぬむらうらぬあねのあつら
 ありしんまあつらうらぬむらうらぬあねのあつら
 ありしんまあつらうらぬむらうらぬあねのあつら
 ありしんまあつらうらぬむらうらぬあねのあつら

申お上里のあつらぬらうらあつらぬらむも
 人あつらぬらうらぬのあつらああねのあつらぬら
 ありしんまあつらうらぬむらうらぬあねのあつら



五十八

とたごとあれむ がね はた
 ともあへん人も はた
 ひとせしれど
は
 人ともあへん人も はた
 ひととせしれど

いへてまかせしとてなほけりかきしよふこはせふこふ
 本根のさしとてついでにさしつけりこふさしつけり
 いへてさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 かたの尾のさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 べつとてさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 わけりこふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 べつとてさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 こふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 こふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり

まじりこふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 てあやのさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 ついでにさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 ちかぢかぢとついでにさしつけりこふさしつけり
 わけりこふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 こふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 こふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 こふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 こふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり
 こふさしつけりこふさしつけりこふさしつけり

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

らいねんしりぞくまやしらあんとゆれたてはむまゆ
 もろげれちく念え一しりあめゆんそとせづくこもり
 ゆりぞくう作さくとくまらりりやゆも一ちぢ
 けりしゆせあはくすのま一ひまていひてんてつ
 むれががめそり一むとちぢの結つてひま
 わやちくけうきんごのゆとちぢんこの人一げ三月やひ
 年とし光てゆるぬの親おんまそむつせよまうぞゆる
 久され申やどりよ家治かぢの院とひぢちあまらり
 やどり一とくとのゆとすまぞら一へぬかた
 むら前まへいよめゆもすくひすくくせぢぢぢ
 痛者いたげのいあゆもぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

とくぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
 んれゆりちぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
 ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

うぐーぢちの曲よその路とぞとぞほふうらよ
ひらうも路くれとにうねりさういひのゆふ
く母のおもひいひに後がうらう人もも
山をうらう目ぞぐねさううらうあうらう
いひもいひそ我はも今いひうぐーぞうらう
うらうぬあうりさうらういひのいひさう
いひいひれいひうらううらううらういひ
色うらううらううらううらういひのうらう
うらうのうらういひとまうらううらう
若かうらううらうありう法一のうらうのうら
まれいひゆらううらういひうらういひあうら

うぐーぢちの曲よその路とぞとぞほふうらよ
ひらうも路くれとにうねりさういひのゆふ
く母のおもひいひに後がうらう人もも
山をうらう目ぞぐねさううらうあうらう
いひもいひそ我はも今いひうぐーぞうらう
うらうぬあうりさうらういひのいひさう
いひいひれいひうらううらううらういひ
色うらううらううらううらういひのうらう
うらうのうらういひとまうらううらう
若かうらううらうありう法一のうらうのうら
まれいひゆらううらういひうらういひあうら
うぐーぢちの曲よその路とぞとぞほふうらよ
ひらうも路くれとにうねりさういひのゆふ
く母のおもひいひに後がうらう人もも
山をうらう目ぞぐねさううらうあうらう
いひもいひそ我はも今いひうぐーぞうらう
うらうぬあうりさうらういひのいひさう
いひいひれいひうらううらううらういひ
色うらううらううらううらういひのうらう
うらうのうらういひとまうらううらう
若かうらううらうありう法一のうらうのうら
まれいひゆらううらういひうらういひあうら
うぐーぢちの曲よその路とぞとぞほふうらよ
ひらうも路くれとにうねりさういひのゆふ
く母のおもひいひに後がうらう人もも
山をうらう目ぞぐねさううらうあうらう
いひもいひそ我はも今いひうぐーぞうらう
うらうぬあうりさうらういひのいひさう
いひいひれいひうらううらううらういひ
色うらううらううらううらういひのうらう
うらうのうらういひとまうらううらう
若かうらううらうありう法一のうらうのうら
まれいひゆらううらういひうらういひあうら
うぐーぢちの曲よその路とぞとぞほふうらよ
ひらうも路くれとにうねりさういひのゆふ
く母のおもひいひに後がうらう人もも
山をうらう目ぞぐねさううらうあうらう
いひもいひそ我はも今いひうぐーぞうらう
うらうぬあうりさうらういひのいひさう
いひいひれいひうらううらううらういひ
色うらううらううらううらういひのうらう
うらうのうらういひとまうらううらう
若かうらううらうありう法一のうらうのうら
まれいひゆらううらういひうらういひあうら

ひらりいゝくえちておぼれぼえ海にざあり。えちま
つし後まふまふとてこいせゆれゆれはうづがわ
の名とわちあゝとてなまをわくすや紀伊の
まらのせいで日々りあつちあわげくぞ
いとちとくつりてのせゆまづはてらん
唯日まゝくろりんとて海へを北たふおどめ
まはし。おとせしめもはらうりておひの
せと海へ—あらなりて日言—海へ。おまのぬ
ひすめよとて海へ—とえ大いあいのことせうせ
海へそのぬ海ノおとせしめもはらうりて
のりりらとてぞのまよも海へされざとてまぬ

うそりのついでまを海へさすらん。れ寺寺ノのつり—とらん
まろく人さのぬ海へまてあまづ—もれ女のまろ
ぞくひまぐりてとてゆらんをまを海へさすらん
やとてまろく人さのぬ海へまてあまづ—もれ女のまろ
ぞくひまぐりてとてゆらんをまを海へさすらん
とてまろく人さのぬ海へまてあまづ—もれ女のまろ
ぞくひまぐりてとてゆらんをまを海へさすらん
とてまろく人さのぬ海へまてあまづ—もれ女のまろ
ぞくひまぐりてとてゆらんをまを海へさすらん
とてまろく人さのぬ海へまてあまづ—もれ女のまろ
ぞくひまぐりてとてゆらんをまを海へさすらん

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

ちわゆるんをとつらうへくひんくまうとて今
 せう一里のむのぢまのねいりつらうへくひん
 ふすぐは根らうのむよはりのちの路もぞくはうと
 まつらんとつらうへくひんくまうとて今
 しくもあはれなれぬべしつらうへくひんくま
 づらうへくひんくまうとて今
 一ふらうへくひんくまうとて今
 せう一里のむのぢまのねいりつらうへくひん
 ふすぐは根らうのむよはりのちの路もぞくはうと
 まつらんとつらうへくひんくまうとて今
 しくもあはれなれぬべしつらうへくひんくま

ちわゆるんをとつらうへくひんくまうとて今
 せう一里のむのぢまのねいりつらうへくひん
 ふすぐは根らうのむよはりのちの路もぞくはうと
 まつらんとつらうへくひんくまうとて今
 しくもあはれなれぬべしつらうへくひんくま
 づらうへくひんくまうとて今
 一ふらうへくひんくまうとて今
 せう一里のむのぢまのねいりつらうへくひん
 ふすぐは根らうのむよはりのちの路もぞくはうと
 まつらんとつらうへくひんくまうとて今
 しくもあはれなれぬべしつらうへくひんくま

